

平成27年度 第3回 市長と話そう、まち育てタウンミーティング 要約版



- ・日 時 平成27年9月4日（金）午後3時から4時
- ・場 所 北上コンピュータ・アカデミー多目的ホール
- ・参加者 北上コンピュータ・アカデミーの学生の皆さん
石川 勇紀さん ビジネスコース2年
阿部 彩香さん ビジネスコース2年
佐々木 樹さん CG・CADコース2年
千葉 翔斗さん システムコース2年
（アドバイザー）伊藤教務部長
- ・市出席者 高橋市長、今野商工部長、八重樫工業振興課長
- ・テーマ 「北上で学ぶ理由・働く理由」
「どうしたら地元岩手で働きたくなる」

北上コンピュータ・アカデミーの学生の皆さんと「就職」、「若者が住みたい街」、「アカデミーで学んだこと」などについてお話しました。

「私は〇〇なので北上コンピュータ・アカデミーで学び、卒業したら〇〇したい。〇〇だから私は〇〇市町村で働きたい。」というお題で参加者から自己紹介を交えてお話ししていただきました。

佐々木さん：私は山田町出身です。以前から情報技術に興味があり、北上コンピュータ・アカデミーで学んでいます。アカデミーで学ぶ中で発表して人にものを伝えることに楽しさを覚えました。卒業後は沢山のの人に情報を発信する宣伝を行う仕事をしたいです。

石川さん：私は北上市出身で、簿記やPCの資格を多く取りたかったので、北上コンピュータ・アカデミーで学び、卒業したら、できれば北上市役所または市内で学んだことを生かしたいです。地元の活性化に貢献したいので私は北上市で働きたいです。



千葉さん：私は昔からゲームが好きで、システムの知識を身に付けたく、北上コンピュータ・アカデミーで学んでいます。すでに内定をいただいているので、卒業したなら少しでも使える人材になれるように努力したいです。一度都会へ出てみたいと思っていたので、関東・近畿の方の配属を希望しています。

阿部さん：私は花巻市出身です。将来事務職に就きたかったので北上コンピュータ・アカデミーで学び、卒業したら今までに取得した資格を生かせる事務職に就きたいです。自然が豊かで落ち着くから県内で働きたいです。

市長：北上コンピュータ・アカデミーに入学して1年半過ぎましたが、どんな所が自分の就職にとって良かったのかあるいは足りない所はあったのか、感想を教えてください。

石川さん：高校までには学ぶことがなかったパソコンや財務会計の知識を学べたことが良かったです。また、学校生活においてもコミュニケーションスキルを学べました。

市長：なるほど。では、逆にこうしてほしいことはありませんか。

石川さん：正直、もうちょっと生徒が自分で考えて行動できるようにしてほしいですね。例えば学園祭や体育祭の企画とか。



阿部さん:私も高校ではパソコンに触れる機会がなかったのですが、簿記やパソコンの授業を通じてブラインドタッチができるようになり、電卓のスピードがアップしました。

千葉さん:私は入学当初プログラマーを目指していたのですが、最初の授業で自分には向いていないことが分かり、ゲームクリエイターの道は、すぐにネットワークの勉強を始めたのですが、すぐに進路を切り替えたのが、早期に内定をいただけた要因ではないかと思います。

千葉さん:学校に望むものとしてですが、アカデミーではマックブックプロなどの最新のデバイスを貸出してくれるのがとても嬉しいですが、あまり学生に知られていないのが残念ですね。

伊藤教務部長:補足しますと、あくまで卒業研究などの用途に対し貸出しするもので、個人的な使用には貸出ししていません。

佐々木さん:私はCG・CADコースですが、普段からゲームやアニメ、映画を多く観ますが、CGに触れる機会を得たことが嬉しいです。CG・CADコースは名前のとおりCGとCADの両方を勉強しますが、私個人としてはその分CGに専念して勉強できる環境が欲しいです。

市長:現在コンピュータ・アカデミーは職業訓練法人という位置づけにあります。しかし、全県から学生が集まってきますし、卒業式の発表を聞いても皆さん多くの資格を取得しています。ですので、これは卒業生の方も同じ想いでしょうが、私としては学校の県立化なども念頭に、あり方を検討したいと思っています。相当高い壁があるかと思いますが、期待しててください。

市長:私は卒業しても絶対に岩手に残ってほしいというわけではありません。就職した先で活躍しながら次第に生まれた地域に貢献していくということも良いでしょうし、近くに残るのであれば、岩手で色々な経験を通して地域に貢献できる人材になってほしいです。



懇談テーマ②「どうしたら地元岩手で働きたくなる」

みなさんが地元に残って働きたいと思うために、
「仕事」「行政」「まち」に何を望むかを聞いてみました

石川さん: 高齢者向けのバスの拡充や自転車専用道路の整備といった交通政策と緑の多い街になると嬉しいです。



市長: 地方は車中心の生活が一般的で路線バスが減っている状況であることはご存じだと思います。バスを維持するかはとにかく公共交通で地域の拠点を結ぶことが大切になってきます。また、自転車専用道路についてはすでに盛岡市など先行事例がありますので北上市でも徐々に進めていきます。

石川さん: それと、ビームスやスターバックスなど若者向けの店舗がもっと欲しいです。

市長: 若者向けの店舗は若者人口が少ないと成り立ちません。盛岡市くらいの30万都市であれば、その1%である3千人が利用することで商売が成り立つということのようです。北上市単独では足りないの、花巻市から奥州市の商圈として考える必要があるでしょう。

阿部さん: 仕事に望むものとしては産休や育休が充実していると嬉しいです。それから、最近同い年の友人が子どもを産んでいるのですが、親子で遊べる施設が無いという話を聞きます。



市長: 以前のタウンミーティングでもお母さん達から出されました。どの自治体でも欲しがっていますし、公園に限定せず、屋内で遊べる場所が必要だと思います。

千葉さん:北上コンピュータ・アカデミー設立の目的は地方のIT技術の向上だと考えますが、にもかかわらず、その受け皿であるIT関係企業が少ないので、学生が首都圏に流れます。企業が増えれば技術者も増えますし、技術者は若い年齢層が多いので商業も活気づき、商業施設も増えるのではないのでしょうか。



市長:せっかくの勉強を生かせる企業が少なく感じるのはもっともでしょうね。皆さんの先輩で東京や関西で起業している方もいますから、そういった方々で北上で会社を立ち上げてほしいと思います。機会を捉えてお話しできればと思います。

佐々木さん:卒業したら広告業に就きたいのですが、北上には求人が少ないので盛岡や東京に行かざるを得ません。北上にも業界の中心となるものがあれば、広告業の増加だけでなく、街の活性化につながるのだと思います。もう一つはアミューズメント施設や音楽イベントなど若者が残りたくなる場所が増えればよいのではないのでしょうか。

市長:これについても広域エリアで考える必要があるでしょうから、花巻市や奥州市などと連携する環境づくりを進めることが我々の仕事なのかなと思います。といっても30万人ですから過大な期待をされても困りますが。

自由懇談

佐々木さん:北上ケーブルテレビは市と密接につながっているのですか。

市長:市の情報発信だけでなく市議会の中継をお願いしています。まだ一部視聴できない地域もありますので、いずれは市内全域で視聴できるように考えています。しかし、そうはいってもケーブルテレビを視聴するためには契約が必要ですから、全世帯に発信することはできません。

そこでもう一つの方法としてラジオ放送を検討しています。ラジオがあれば誰でも聴けますし、北上コンピュータ・アカデミーのイベントの実況中継など活用は広がります。インターネットは高齢者には伝わりませんから、気軽に聴けるラジオやテレビが良いでしょう。

千葉さん:市内に無料のWi-Fiスポットは作らないのですか。

市長:すでに数か所あります。また、県でもホテルなど人が集まる場所に対しての整備に補助金を出していますし、これから徐々に広がっていきます。